

第472回北海道産銘木市入札会場



2024年1月26日北海道旭川にて北海道産銘木市が開催されました。おおよそは北海道産ですが、それ以外の産地の原木が出品されていたら貴方は如何に思いますか。小生はこの事を以前から指摘しています。この市は二つの役割を果たしています。一つ目は価格形成です。二つ目は合法性です。まず、最初にお話しする価格形成とは所謂需給バランスに於いて相場を形成する事です。出品される原木の殆どが現実には国有林です。国有林とは国民全ての権利の上に成り立っています。従って競争原理を用いて日本で一番高く購入して頂く機能です。二つ目の合法性ですが、旭川の原木は組合が合法性に対して100%の責任を果たすルールになっています。と言う事は、あらゆる観点から見て合法性が実証されなくて

はいけないのではないのでしょうか。一番上の写真は主催する高橋理事長の挨拶です。下記の写真の真ん中のクルミは東北産原木です。出品者が取り忘れたのか、わざと外さなかったのかは解りませんが、岩手県産の市を通して出品された証拠の札が張って有ります。例えば食材～住宅資材まで合法性は求められています。生産する者にとって生命線の筈です。しかし木材の流通は違う事を知って頂きたいだけです。情けない事かラッキーかは解りませんが、東北材の出品者に友人がいます。彼は小生より10歳上の大手商社の木材部の出身です。来月も再来月も東北材を出品しますと小生に嘯いていました。

- ① 日本中の広葉樹関係業者が集まるのが北海道です。
- ② 世界中で最も買いやすい市場です。この二つがこの市場の魅力です。

しかし服部商店は、下記の事を今後も継続して行います。

- 1) 北海道産と東北産の区別は行います。従って混ぜません。
- 2) アメリカ産材と国産材の両方を提供し続けます。

今回の出張で見えてきた事。

北海道産原木のマーケットはナラ・タモ・マカバ・セン等の主力樹種の高騰は継続しています。高騰している原因は主に下記の7項目だと思います。

- ① 為替が円安の為に、輸入材より国産材がコストパフォーマンスは高い。
- ② アメリカ国内の人件費高騰の影響を受け、林業関係者が少ない為生産量が増えない。
- ③ 世界的な木材不需要期に入っています。それが偏った注文に変化しています。
- ④ 特に東京に集中して新たに建設されるブランドの内装に国産材『マカバ・セン』が使われます。図面が出ている様です。(バブル期と同じ傾向です。)
- ⑤ ヨーロッパ材が中東戦争の為にコスト上昇し、コストパフォーマンスが落ちている。
- ⑥ 高く買い付けが出来る業者の財務内容が良いとは限らない。
- ⑦ 本当は会社の構造改革をしたいと言う思いは有るが、判断を先送りにしている。

ところで最近東京で販売されたマンションの平均販売価格が、初めて1億円を超えたとマスコミで報じられましたが、住宅市場の資材高騰が継続しています。そしてようやく使われる物の価格は横ばいになっていますが、人件費の高騰が今後継続すると思われます。その為に、大手住宅供給会社は木質系建材から石油系建材にほぼ100%切り替えたと『1月上旬に大手住宅販売会社のオフィスを訪問しましたが、使用する建材はシート素材』と聞きました。

30年以上継続した日本の病、所謂デフレから完全に脱却していますが、国民全体が良かった30年昔に戻れるか否かは我々自身の課題だと考えています。30年継続したデフレマインドが2~3年で変化するとは思いませんが、10年単位なら劇的に変化すると思っています。その為には移民政策も必要だと思いますが、それを支えるのはインターネットです。

仮に劇的に我々の暮らしを向上させる事が実現できたと想像してください。その為にはインターネットが中心になっている事は間違い無いと思います。今回の北海道出張はそれを加速しなさいと言う証だと悟りました。

今後の服部商店が目指す方向性です。

- ① 服部商店の様な零細企業が、外国に販路を開拓する為の準備をします。
- ② マーケットが必要とされる商品の開発です。
- ③ 真似される会社になる事。(コピーサイト等、所謂グレーなサイトが現在多く存在します。何故存在するか、自身で考えるより人真似すれば良いと考えているからです。)
- ④ 直観力と整合性のバランスを大事にします。直観力で生まれた商品で、整合性に欠けた商品は絶対に存在しません。
- ⑤ 美しさとストーリー性の有る会社運営と、新しい商品を開発します。

結果として、マーケットから求められる会社になり同業他社との差別化が図れ、そして、従業員の労働に対する正当な報酬を払える会社になると考えています。

物語にならない商品は、絶対にマーケットから求められる商品ではありません。

能登半島地震の多くの被災者の皆様に

2024年1月1日石川県の能登半島に於いて、多くの御霊が失われ1か月経過した現在も思うように復旧が進んでいない現実をマスコミ報道で見る度に何も出来ないもどかしさを感じています。

服部商店の大事な御客様も被害を受けました。様々な事をしなければならないと思いますが、東日本大震災の時1年経過して現場を訪れた時のお話『悲しむ事も大事ですが、被災地に多く訪れて下さい。それも立派な貢献ですよ』が今も脳裏に有ります。

復興までに多大な時間が掛かるとは思いますが、頑張って復興される事を御祈りします。

能登半島地震に遭われた材木屋の若者がいたら是非ご紹介下さい。

大学の卒業式の前、昭和56年1月6日から、当時愛知県に有りました名古屋市売木材に修行して参りました。名古屋市売木材とは東海木材市場加盟の市売り問屋で、主にヒノキ・スギの原木・製材品の委託販売の市売りをしている会社です。そこで3年3ヶ月、お給料を頂きながら修行させて頂きました。

三河産材・岐阜県産材・長野県産材・三重県産材・兵庫県産材・高知県産材・愛媛県産材・熊本県産材・大分県産材・宮崎県産材と、各地方の材を扱って来ましたが、石川県産材『能登半島に有るヒバ（通称アテ）を販売していました』も扱って来ました。

服部商店が扱っていない国産のヒノキ・スギを触らせて頂いたので、建築士さんと国産材の話が出来る様になった訳です。私はその会社で色んな事を学びました。会社の同僚と仕事で言い合いもしました。しかし今の私が存在させて頂けるのはその会社のお陰だと思います。そこで、今回の地震の事で、会社・住いが無くなった方が大勢いらっしゃる事はマスコミ等の報道で存じ上げていますが、震災の地で材木屋を営んでいて、しかも跡取り目指し、年齢も大学を出た前後の方がいらっしゃれば、私の会社で修行する方を是非募集したいと思います。身元のはっきりした方で、もしそういう方がいらっしゃれば是非ご紹介、ご案内頂けたらと思います。ご自身での応募も可能です。

私自身、今すぐ能登半島地震で直接何かをしたいとは思いますが、現時点はボランティアで現地に出掛けるのは無理だと思います。しかしボランティア・募金寄付活動以外の私の思いも震災復興につながるとは思います。

最近の材木の仕事の肉体的辛さは、機械化が進み、昔より良くなりましたが、しかしその分材木屋の本懐『木材を買いたい、もしくは使いたい方から木材の質問を受けた場合正しいお答えが出来ること、また、即答が出来ない場合答えを教えてくれる仲間がいること。亡き父親の遺言ですが、材木屋は木工所の医者でならねばならない』を忘れたのではないかと感じています。材木の事なら何もかも解かる方を是非育てて、能登半島地方の復興に役に立つ人間を世の中に送り出せることが出来たら凄く嬉しく思います。

別紙アンケートを入れていますので該当する方がいらっしゃればご紹介ご案内下さい。

木工教室のご案内

木工教室を開催

木材振興と、これから育っていく子供たちのため



木工教室のご案内
そうそうざっか

これから育っていく子供たちのため

開催日：2024年3月16日 9:50～12:00
場所：(株)服部商店 / 大阪府岸和田市木材町16-1
参加費用：2,000円

申込方法
・服部商店【お問い合わせフォーム】
・FAX: 072-422-8577



製作する
木工ゲーム
パズル

額縁タイプのケース

そうそうざっか

[詳細はこちら](#)

木工教室開催：そうそうざっか

日時： 2024-03-16 @ -
場所： 服部商店 本社
大阪府岸和田市木材町16-1
参加費： 2,000円

 カレンダー

 カレンダーに追加



木工教室のご案内
そうそうざっか

これから育っていく子供たちのため

あ 図 記

材木屋の息子で父親の後を継ぎ、今回の能登半島地震に遭い大阪の服部商店で修行したいと思う方をご紹介します。

または、ご自身で応募下さい。

FAX 072-422-8577 又は info@hattoriwood.co.jp



紹介者	
紹介者の住所	
紹介者の連絡先	
紹介して頂ける方のお名前と年齢	
紹介して頂ける方との関係	
紹介して頂ける方の住所	
紹介して頂ける方の連絡先	

〒 596-0011

大阪府岸和田市木材町 16-1

(株) 服部商店

服部雅章

TEL 072-438-0173

これから育っていく子供たちのため

開催日：2024年3月16日 9:50～12:00

場所：(株)服部商店 / 大阪府岸和田市木材町16-1

参加費用：2,000円

**申込
方法**

・服部商店【お問い合わせフォーム】

・FAX. 072-422-8577



想像・創造することの楽しみを忘れかけている今の時代にこそ必要な、そんな商品を開発し続け、未来ある子供たちのため、今一度五感で物ごとを感じ、自然・大地の恵みである無垢の木を通して、感覚を磨くことこそ、子供の成長過程で必要不可欠なことと信じています。

そうそうざっかが扱う本物の無垢の木で製作した木材雑貨で、日本人が忘れかけている「心を育てる」ことの大切さを、改めて提案したいと思います。

その一環として、本物の無垢の木を使用した木工ゲーム（木製パズル）の製作を、木工教室という形で開催いたします。

ご家族（親子）や、木工（ものづくり）に興味のある方には是非ご参加いただきたいと思います。

木工教室参加・申し込み用紙

F A X 072-422-8577 又は
wood2@hattoriwood.co.jp



ご不明な点が有れば 0120-194-511 に御連絡下さい。

日程 2024 年 3 月 16 日（土曜日）
時刻 AM10 時～ 約 2 時間
催し内容 くぎもノコギリも使わない木工
料金 2 月 28 日迄にお申し込み頂いた方は当日 2,000 円をお支払い下さい。
募集人数 30 名限定
応募方法 この申込用紙でお申し込み下さい。

お名前	
参加人数	
ご職業	
ご住所	
連絡先電話番号	
メールアドレス	

〒596-0011
大阪府岸和田市木材町 16-1
（株）服部商店
TEL 072-438-0173・0511